

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	観音崎公園
指定管理者	横浜緑地・西武造園グループ
指定期間	H21.4.1 ～ H26.3.31
施設所管課	都市公園課（横須賀土木事務所）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

観音崎公園の貴重な自然・歴史資源の特性を活かした公園づくりの実現に向けて、生物多様性向上への取組みとしてチョウやバッタ等の生息環境に配慮した植物管理などを計画的に行った。利用促進に関しては、砲台跡などの歴史資源を活用したガイドツアーや地域と連携した防災イベントなどを開催するとともに、公園ホームページやパンフレットを更新して情報発信機能の強化に取り組んだ。昨年度、大震災の影響により減少していた来園者数は、上半期に回復がみられ、目標値も上回っていることから、こうした取組みの成果が見られている。提案どおりの取組みを計画的に実施しており、良好な管理運営状況にあることから、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	6月4日	○	○	○	無	
5月	6月11日	6月29日	○	○	○	無	
6月	7月10日	7月30日	○	○	○	無	
7月	8月10日	8月29日	○	○	○	無	
8月	9月10日	10月9日	○	○	○	無	
9月	10月10日	確認中	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	公園における特性と課題を踏まえた維持管理 (1) 生物多様性の向上 (2) ウェルカムポイントの修景 (3) 花の名所づくりのための植栽管理 (4) バーベキューエリアの夜間巡視、早朝交通誘導	(1) 花の広場でのチョウやバッタ等の生息環境に配慮した植物管理の取組みを継続的に実施しており、下半期に地元幼稚園と協働した虫のねぐらモニタリングを開催する予定である。 (2) 第2駐車場やビジターセンターなどでプランターを増やして花修景の向上への取組みを行った。 (3) 6月にアジサイまつりを開催した。アジサイの目線にあった剪定や、挿し木等によるエリアの拡大に取り組んだ。 (4) 公園利用者の多い夏休み期にバーベキューエリア等の夜間巡視やレストハウス周辺での早朝交通誘導を実施した。

	提案内容	実施状況
2	<p>利用促進方策</p> <p>(1) 利用促進のためのイベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドツアーの拡大充実 ・横須賀市の他公園等との連携イベント開催 <p>(2) 利用促進のための広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実 ・公園パンフレットの更新 ・定期的な観音崎通信の発行 	<p>(1) 植物、地層、砲台等について観音崎の特色あるガイドツアーを計画どおり開催した。</p> <p>また、歴史遺構ガイドツアーを猿島、三笠公園など市内他公園と連携して5月に初開催した。市内に点在する明治期の歴史遺構を順次巡り、様々な視点から歴史を学ぶ機会を提供できた。</p> <p>(2) 利用促進事業の広報活動の強化への取組みとして、公園のホームページやパンフレットを更新して掲載情報の充実を図った。</p> <p>また、観音崎通信を毎月発行して園内に配架するなど、イベント情報等の園内情報の発信に努めた。</p>
3	<p>地域と関係機関との連携</p> <p>(1) 県民及び住民参加、ボランティア団体による協働の取組みについて</p> <p>(2) 地域への貢献について</p> <p>(3) 関係機関との連携</p>	<p>(1) 公園ボランティアの追加募集を行った。公園見回り隊として2団体が増えるなど、計3団体55名の参加者が増加して園内のボランティア活動の拡充が図られている。</p> <p>(2) 4月・7月に観音崎周辺の海岸清掃を実施した。10月には市主催イベントの「クリーンよこすか」にも参画する予定である。</p> <p>(3) 関係機関（地元消防署・警察署・ボーイスカウト・町内会）と連携して防災イベントを6月に開催した。参加者は計350名となり、防災をテーマに公園と地域との意識交流を深めた。消防放水体験や煙トンネル、炊き出し体験、災害救助犬の実演などの体験型イベントも開催した。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額			支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入		
募集時の積算額 (参考)		51,355	—	28,558	79,913	0
予算額	前年度	80,220	—	27,781	108,001	0
	上半期	38,332	—	18,670	57,002	0
	下半期	41,888	—	9,111	50,999	0
	今年度	79,800	—	27,781	107,581	0
	上半期	37,912	—	18,670	56,582	144
	下半期	41,888	—	9,111	50,999	▲ 144
上半期実績額	4月	5,597	—	1,926	7,523	995
	5月	6,459	—	2,463	8,922	▲ 230
	6月	8,613	—	1,404	10,017	1,243
	7月	5,866	—	3,734	9,600	▲ 574
	8月	5,164	—	7,489	12,653	1,233
	9月	6,213	—	1,684	7,897	▲ 718
	今年度 上半期合計	37,912	—	18,700	56,612	1,949
	前年度 上半期合計	38,332	—	17,255	55,587	▲ 16
	対前年度上半期比				1.8%	▲ 1.7%

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：300千円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	71,500 人	65,000 人	10.0 %
5月	78,500 人	68,500 人	14.6 %
6月	61,600 人	51,500 人	19.6 %
7月	73,500 人	68,500 人	7.3 %
8月	89,000 人	74,000 人	20.3 %
9月	59,500 人	59,200 人	0.5 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	299,000 人	433,600 人	386,700 人	45.1 %	12.2 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	○	昨年度は大震災の影響が大きく来園者数が減少していたが、今年度は客足が回復してきている。 5月、6月にイベント開催など、利用促進を積極的に行ったことや8月に晴天日が続き、海利用者が増加したことが主な要因と考えられる。
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	4	6	0	8	0	18
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(3)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	坂道の園路が雨などで濡れている際、滑りやすく危険である。	滑りやすい箇所において「歩行注意」の掲示を出すとともに、路面の高圧洗浄を実施した。
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

観音崎公園では、貴重な自然・歴史資源の特性を活かした公園づくりに取り組んでおり、提案どおりの管理運営状況にある。

維持管理に関しては、生物多様性の向上を考慮した植物管理や花の名所づくりに取り組むとともに、利用者の多い夏休み期間に夜間巡視を行うなど園内防犯の強化に努めており、継続が望まれる。

利用促進に関しては、自然や歴史などの公園の特性を活かした様々なイベントを開催するとともに、ホームページを更新して情報発信機能の強化を図るなどの取組みが行われており、継続が望まれる。

地域との連携に関しては、ボランティア活動の拡大・充実が図られており、継続が望まれる。

下半期については、公園ホームページの一層の充実とともに、観音崎の貴重な自然・歴史資源の特性を活かした公園づくりに向けた利用促進の取組みの継続的な向上に努めてほしい。